

MF-1

1960年 / 市販車

ヤマハ発動機初の50cc モペッド（Moped）で、5年後に発売されてビジネスバイクのベストセラーとなるメイトシリーズのルーツとなる。フロントフェンダー、ヘッドライト、ガソリタンク一体式のモノコックフレームはテールライトまで流れるワンフォルムに、アクセントとなるハンドルカバー、レッグシールド、リアフェンダーで構成されたツートーンボディーは他に類を見ない近代的でスタイリッシュなデザインとして注目を集めた。フロントサスペンションはナイトハルト式（ゴムブロックを圧縮）、リアサスペンションにはエリゴ式（ゴムに包まれたコイルスプリングを圧縮した）を採用することで、通常は後輪の側方に配されるサスペンションが姿を消し、モデルの先進性を印象付けるだけでなく、ロングストロークで良好な乗り心地が高く評価された。当時の原付クラスでは珍しいセルスターターも装備して、「誰にでも気軽に乗れる」モペッドとして大人気モデルとなった。



COMMUNICATION
P L A Z A